

基調報告

障害者に関する立法や法改正の動向と今後の課題

竹下 義樹 障害者放送協議会代表

1 新たな立法ないし法改正の動向

(1) 読書バリアフリー法の制定（2019年）

— 国の基本計画は発表されたが、都道府県の基本計画は進んでいない。

(2) 障害者差別解消法の改正（2021年）

— 基本方針の改定が遅れている。

(3) バリアフリー法の改正とその施行（2021年4月）

— マスタープランや地域推進計画等の進捗状況の把握が必要。

(4) 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション及び意思疎通支援に関する法律（「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法案」）が通常国会に提案予定

— 本法が成立した以後の個別分野における制度づくりが鍵となる（同法10条）。

2 障害者権利条約を巡る動きと第5次基本計画の準備

(1) わが国の政府レポートに対する審査に向けた市民団体（JDF等）としての平行レポートの作成

(2) 障害者政策委員会としての国連権利委員会に対する報告書の作成

(3) 第5次基本計画（令和6年4月スタート）の制定に向けた障害者政策委員会における論議

3 今後の課題

(1) 障害者の情報アクセシビリティをあらゆる分野において制度的に確立するための取り組みないし方策

(2) 地方（都道府県）における情報保障やバリアフリー化（ユニバーサルデザイン化）を、地域間格差を生じることなく進めるための取り組みないし方策

(3) 国連障害者権利委員会のわが国に対する勧告（総括所見）を受けた取り組み